

科目名	スポーツ社会学 Sports Sociology						
科目担当者	竹澤 恵菜 TAKEZAWA Ena						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 スポーツ・健康] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 スポーツ・健康]				ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)	
授業の概要	<p>まず、スポーツの概念を理解させるなかで、スポーツの文化的特性とその内容について理解を深め、さらに現代社会の中のスポーツ（現代スポーツの考え方）を考えさせ、スポーツを取り巻く環境の変化についても考えさせ、理解を深める。</p> <p>また、角度を変えて、学校体育と競技スポーツと生涯スポーツとの関連やつながりについても考えさせ、望ましい生涯スポーツの在り方や、地域、企業と社会体育・スポーツの在り方を包含したかたちでの施策的なスポーツの在り方や推進策についても理解を深めさせる。</p>						
授業の到達目標	<p>①日々の生活を健康的に生きるために必要なスポーツを、個人的・社会的な面から考え望ましいスポーツの在り方を理解する。</p> <p>②スポーツの在り方について理解し、説明することができる。</p>						
授業計画・内容	1	スポーツの意義と価値 1. スポーツの意義と価値とは					
	2	2. 社会の中におけるスポーツの価値					
	3	3. 文化としてのスポーツ					
	4	4. スポーツの文化的特性					
	5	5. 「スポーツ宣言日本」におけるスポーツの意義と価値					
	6	6. オリンピズムにおけるスポーツの意義と価値の捉え方					
	7	現代社会とスポーツ					
	8	スポーツの産業化と発展					
	9	スポーツの歴史と発展					
	10	スポーツのインテグリティ 1. スポーツにおけるインテグリティの確保					
	11	2. アンチ・ドーピング活動					
	12	3. アンチ・ドーピングのルール					
	13	スポーツマンシップとフェアプレイ					
	14	障がい者とスポーツ					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	授業範囲の教科書・資料等を読んでおく（毎週2時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	授業に関して理解したことをまとめ、理解を深める（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	1 授業の取り組み状況				50%	①	
2 テスト				40%	①②		
3 自主的な学外活動				10%	②		
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	『Reference Book』公益財団法人 日本スポーツ協会 『未来を拓くスポーツ社会学』（株）みらい						
参考文献	『よくわかるスポーツ文化論』ミネルヴァ書房 『2020東京オリンピック・パラリンピックを社会学する』創文企画						
その他							